

FavorPrep™ Blood Genomic DNA Extraction HE Mini Kit

Cat: FABG1030 (4 回分) / FABG1033 (50 回分) / FABG1034 (100 回分)

本製品は研究用です ver. 202505

● キットの内容

	FABG1030 (FABG103-004)	FABG1033	FABG1034 (FABG103-100)
	(4 preps)	(50 preps)	(100 preps)
FABG Buffer	1.5 ml	20 ml	40 ml
W1 Buffer (Concentrate)*	1.3 ml × 2	22 ml	44 ml
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	7 ml
Proteinase K (Liquid)	150 µl	1600 µl	1600 µl × 2
HE Columns	4 pcs	50 pcs	50 pcs × 2
HE Collection Tubes	8 pcs	100 pcs	100 pcs × 2
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs
*添加するエタノール (96~100%) 量			
W1 Buffer	0.5 ml	8 ml	16 ml

● 基本情報

構成	スピナラム (シリカメンブレン)
結合量	≤125 µg DNA/column
所要時間	<45 分
サンプル量	≤300 µl 全血またはバフィーコート
収量	4~12 µg/300 µl 全血
溶出量	30 µl



- Load 300 µl sample.
- (Optional) Add RNase A.
- Cell lysis (30 µl Proteinase K and 330 µl FABG Buffer) at 60°C for 15 mins (vortex per 3~5 mins).



- Incubate the sample mixture at room temperature for 5 mins.
- Add 330 µl ethanol (96~100%).



Centrifuge
12,000 xg, 1 min

- Transfer the mixture into the HE Column for DNA binding.



Centrifuge
12,000 xg, 1 min

- Add 500 µl W1 Buffer (ethanol contained).



Centrifuge
12,000 xg, 2 mins

- Add 500 µl ethanol (96~100%) and dry the column membrane.



Centrifuge
12,000 xg, 1 min

- Add 30 µl Elution Buffer.
- Stand the column for 5 mins.
- Obtain purified genomic DNA.

● 重要事項

1. キットの構成品は室温(15~25℃)で保管してください。
2. W1 Buffer に指示された量のエタノール(96~100%)を加えてよく混和し、室温で保管してください。
3. エタノール(96~100%)と RNase A(オプション)を用意してください。
4. 操作を始める前に、ドライバスまたはウォーターバスを 60℃に予熱してください。
また、溶出ステップでは Elution Buffer を 60℃に予熱してから使用してください。

● 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 300 μ l のサンプル(全血またはパフィーコート)を遠心チューブ(非付属品)に移します。
メモ) サンプル量が 300 μ l 未満の場合は、適切な量の PBS を加えてください。
2. <オプション>RNA-free genomic DNA を抽出する場合
12 μ l の 50mg/ml RNase A(非付属品)を加えます。十分に混和し、室温で 2 分間インキュベートします。
3. 30 μ l の Proteinase K と 330 μ l の FABG Buffer を混合液に加え、ボルテックスまたはピペティングで十分に混和します。
メモ) Proteinase K は FABG Buffer に直接加えないでください。
4. 60℃で 15 分間インキュベートし、サンプルを溶解します。インキュベーション中は 3~5 分毎にボルテックスしてください。その後、室温で 5 分間インキュベートします。
5. 330 μ l のエタノール(96~100%)を加え、パルスボルテックスで十分に混和します。
6. HE Column を HE Collection Tube に取り付け、すべての混合液を慎重に移します。
7. 6,000 $\times$ g で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、HE Column を新しい Collection Tube に取り付けます。
8. 500 μ l の W1 Buffer(エタノール添加)を加え、12,000 $\times$ g で 1 分間遠心分離します。その後、ろ液を捨てます。
9. 500 μ l のエタノールを加え、2 分間遠心分離しメンブレンを乾燥させます。その後、ろ液と HE Collection Tube を捨てます。
重要! カラムの先端がろ液に触れないようにしてください。触れた場合は、再度遠心分離し、残留エタノールをすべて除去してください。
10. HE Column を Elution Tube に取り付けます。そして、30 μ l の予熱した Elution Buffer または ddH₂O (pH 7.5~9.0) をメンブレンに直接加え、5 分間静置します。
メモ) 効率よく溶出させるため、Elution Buffer はメンブレンの中央に加え、完全に吸着させてください。
11. 12,000 $\times$ g で 2 分間遠心分離し、DNA を溶出します。